

## 東葛まいにち 2月 28日

### かかりつけ薬局の 知つ得情報 ②



ながると思っています。

献血には全血献血と採

世の中に多くの医薬品定期的に献血に行くようが溢れ、ほんの数年前まになりました。燐でられるで考えられなかつたようと弱いのです。もし心当たりな薬が新薬として登場するなど、目覚ましい進歩を遂げるなか、それでも人類が人の手で作る事ができないもの、それは血液です。

外科手術や救命救急外来で欠かせない血液の供給は、献血という人々の善意によってのみ貰われています。一方で、血液提供建者は年々減少の一途をたどり、大きな問題となっています。血液は保存時間に限度があるため、取り時めておくことができず、常時その提供を必要としているのです。

私は数年前に何気なく入った献血ルームでの予備検査で赤血球値が高く良い血だと誉められたことをきっかけに年に2回



定期的に献血に行くようになりました。燐でられるで残りの赤血球などを献血者に戻す成分献血の二種類があります。献血するには年齢の他、特りがあるとすれば、毎年松戸市で開催されている七草マラソンに参加するなど、日常的な運動が酸素運搬能力の高い優良な血液を産み出したのかもしれないのです。

血液を産み出したのかもしれないのです。有酸素運動によって血流が良くなり、健康状態の良くない時に血を損ねる場合もあります。献血したいけれど、服用中の薬があるという方は事前に薬局にて薬剤師にご相談ください。

担当薬剤師 竹田恒一